

第 6 回
東京外環地下水検討委員会
主な意見

1. 地下水流動保全工法について

○大泉 J C Tにおける地下水流動保全工の基本構造を変更した条件で、自然地下水位からの地下水位変動量が ± 0.1 m未満となるような性能を満足し、集水・涵養井戸周辺に目詰まりが生じないように設計されていることから問題ない考える。